

2017年度 交換留学 留学報告書

国際交流学科 3年

留学先：中国 清華大学

留学期間：2017年2月～2018年1月

私は2017年2月から2018年1月まで北京の清華大学へ留学した。大学で中国語インテンシフコースに所属し、中国語を勉強していくうちに現地で生の中国語を聞いて勉強したい、また中国という国に興味を持つようになり留学を決意した。留学が決まった当初、周りのみんなからはどうして中国に行くの？空気が大丈夫？などと聞かれ、日本での中国に対する印象の悪さを実感していた。そんな不安や心配があるなか始まった留学生活は、今思うととても楽しく充実した留学内容だったと思う。

授業では、前期は語学を中心に勉強し、後期は語学と中国語を使って学ぶ授業を履修した。留学生の授業はレベル別に分かれており、自分のレベルにあった授業を履修することができる。最初は授業についていけず、分からない言葉が多かったので授業に行くのも嫌になることもあったが、中国の生活に慣れ、言葉にもだんだん慣れてくると授業も楽しくなってきた。またグループワークや討論の授業では、日本にいたときはあまり授業中に発言することがなかったので戸惑ったが、欧米人たちの積極性につられ私も発言し、一緒に討論することができた。後期は月に1回パワーポイントの発表があり、準備が大変だったが中国語で発表する自信が付き良い経験となった。大変な課題や授業と一緒に乗り越えたクラスメイト、この授業でできた友達とご飯を食べたり、遊んだり帰国しても連絡を取り合う大事な友達ができることは私の宝物だ。

また留学中中国人の友達を作ることに苦労した。授業が留学生クラスであるため中国人の友達を作るのが難しい。私は大学のサッカー部に入り週に1回の活動を通して中国人の友達を増やした。また日本でラクロスをやっているの、中国でも近くの体育大学で週末活動をしていた。運動を通してたくさんの友達ができる。言葉の壁もちろんあったが、何でも積極的に参加することが大切であると学んだ。中国でサッカーの試合に出て勝つこと、ラクロスと一緒に練習したことは良い思い出である。他にも言語交換制度を利用して、中国語を教えてもらい日本語を教えるなど、日本語や日本についても見つめ直すことができた。

旅行にも出かけた。上海・蘇州、西安、青島、安徽省などたくさんの場所に行った。日本では味わうことのできない風景や、その地の美味しいご飯を食べ、改めて中国の歴史やスケールの大きさを実感することができた。特に西安の兵馬俑、安徽省の黄山から見た景色は一生忘れられない。まだまだ行きたいところがあるので、将来お金を貯めてまた旅行に行きたい。最後に、1年間の留学生活があつという間に終わってしまった。今年は心配していた大気汚染は深刻ではなく、快適に生活することができた。留学中に日本では経験できないことを経験し、見知らぬ土地で生活することで自分自身強くなれたと思う。今まで留学を支えて下さった方々本当にありがとうございました。異文化理解の大切さや、中国語学習をやる気にさせてくれた友達と出会えて、心から北京に留学して良かったと思う。この留学で得た経験を今後の生活に活かしていけるよう、この留学で満足せずに引き続き中国語学習に取り組み、より一層頑張っていきたいと思う。

2017年度 交換留学 留学報告書

国際交流学科 3年

留学先：中国 清華大学

留学期間：2017年2月～2018年1月

留学について一言で言うならば行ってよかったということです。私は留学に行くか本当に迷って、結局追加募集で留学を決めました。だけどあの時迷った後に留学に行くという選択をして本当に良かったと思っています。

はじめはとても不安で心配でした。異国の地に1人で友達もおらず私はやっていけるのだろうかと悩んでいました。しかし実際中国に行ってみると友達を作る機会というものはたくさんありました。日本人交流会で同じく日本語を勉強している留学生に会うことができたり、清華大学に本科生として通っている人に出会えたりすることもありました。そこで出会えた日本人は私と同じく中国に興味があったり、中国にバックグラウンドを持つ人たちですぐに打ち解けることができました。また他の国の人と仲良くなるタイミングも沢山あります。私が留学に行って1番よかったなと思えたことは世界中に友達ができただけです。アジアだけでなく、アメリカやヨーロッパ、世界中から留学生が集まっており、みんなと一緒に中国語を勉強するという貴重な体験をすることができました。そして何より中国人の友達がたくさんできました。日本語を勉強している中国人とランゲージパートナーになり、日本語や中国語を使ってお話ししたり、一緒に出かけたりしました。その中で言語だけでなく、中国文化や中国人の国民性を知ることができたと思います。

日本では中国の悪いイメージがまだまだ消えていません。日本より下に見ている人も多くいますし、私が中国へ留学すると決まった時になんで中国なの？と不思議がられることも多くありました。でも私はこの1年中国で暮らして中国人のいいところをたくさん知ることができました。日本より経済的に上回っているポイントも沢山あります。中国人はきっと思っている以上に優しく温かい人だと思います。もちろんそうでないところもあります。携帯や財布を盗まれたり治安が悪くなかったりする部分もたくさんあります。でもその部分だけを見て中国のイメージを決めるのではなく、全体的に見て中国のいいところ、優れているところを知れたことがとても自分にとっていい経験になったのではないかと思います。

語学を勉強しながら文化や国民性を知ることができた留學生活は私の人生において大きな価値になったと思います。留学してよかったと心から思える1年間を過ごすことができました。